

平成 27 年度
----------

施設名	下田メディカルセンター
-----	-------------

番号	
----	--

平成27年度

最終版

# 施設評価調書

施設の名称…下田メディカルセンター

平成29年3月

一部事務組合下田メディカルセンター

**設置目的の達成度**

1 計画(Plan)と実績(Do)

設 置 目 的	地域住民の健康保持に必要な医療を提供する					
運 営 事 業 名	H26実績値	H27目標値	H27実績値	対前年比	目標達成率	評価
入院診療 (延患者数)	25,723人 [ 70.5人]	30,744人 [ 84.0人]	25,355人 [ 69.3人]	98.6%	82.5%	C
外来診療 (延患者数)	54,007人 [ 184.3人]	55,625人 [ 189.2人]	55,764人 [ 189.0人]	103.3%	100.2%	A
救急業務 (延患者数)	3,441人 [ 1,222人]	—	2,959人 [ 1,049人]	86.0%	—	—
手術件数	667件	—	695件	104.2%	—	—
設置目的に対する総合評価						B
目 的 達 成 度 の 評 価 基 準	<p>入院・外来それぞれの延患者数を評価項目とし、目標値は業務予定量（当初予算）とした。（下段括弧書きは1日当たり患者数）</p> <p>評価基準は、A=100%以上、B=90%以上100%未満、C=80%以上90%未満、D=70%以上80%未満、E=70%未満とした。</p> <p>評価対象外の項目として、救急業務及び手術件数を掲げた。</p> <p>救急業務については、時間外来院者を含む延患者数とし、救急車による搬送患者数を下段括弧書きとした。</p>					

2 現状分析(Check)

運 営 事 業 の 意 義 と 現 状	<p>賀茂医療圏唯一の公立病院として一般病床150床、感染症病床4床の計154床を稼働している。</p> <p>平成25年10月より回復期病棟（49床）の運用を開始し、急性期機能に回復期機能を併せ持つ特性を活かして地域完結型医療の提供に努めている。</p> <p>平成27年度は、外来は前年度を上回る診療実績を挙げている。</p>
上 記 の 原 因	<p>入院については、内科で前年の11,666人から9,255人へと大きく割り込んでおり、救急患者数が見込みを下回ったことが目標値に届かない主要因となった。</p> <p>外来については、整形外科常勤医が1名減少したが、脳神経外科常勤医が2名体制になったことにより患者数が増加したことで目標値に達した。</p> <p>救急については、賀茂地区全体で救急車搬送件数が減少しているが、医師の休暇に伴い一時的に患者受入れが困難な時期が発生するなどし、前年度を下回った。</p> <p>手術件数は、眼科手術の件数が増加したことにより前年度を上回った。</p>

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	<p>医師・看護師等医療スタッフの確保により診療体制の充実を目指す。</p> <p>広報活動を強化し、回復期を中心とする患者の確保を目指す。</p> <p>救急お断り件数の削減を目指す。</p> <p>地域包括ケア病床の転換導入により入院患者の増加を目指す。</p>		
H28運営事業と目標値	評価項目	H28目標値	備 考
	入院診療 (延患者数)	27,052人	業務予定量 ( 74.1人/日)
	外来診療 (延患者数)	56,145人	業務予定量 (191.6人/日)

**効 率 性**

1 計画(Plan)と実績(Do)

効率性指標	H26実績値	H27目標値	H27実績値	対前年比	目標達成率
①病床利用率 A/B	47.0%	56.0%	46.2%	98.3%	82.5%
延入院患者数 A	25,723人	30,744人	25,355人	98.6%	82.5%
延病床数 B	54,750床	54,900床	54,900床	100.3%	—
②対医業収益比率					
職員給与費	59.5%	57.2%	58.6%	98.5%	97.6%
光熱水費	2.6%	1.7%	2.3%	88.5%	73.9%
委託料	10.0%	9.3%	10.4%	104%	89.4%
医療材料費	25.5%	24.5%	28.0%	109.8%	87.5%
効率性指標の考え方等	①延病床数に対する延入院患者数の占める割合 ※目標値は業務予定量（当初予算）より算出  ②医業収益に対する対象経費の占める割合（指定管理者病院事業会計） ※目標値は100床以上200床未満の黒字病院における比率（前々年度の地方公営企業年鑑による）				

2 現状分析(Check)

効率性の現状	①回復期病棟の開床により患者数は増加したが、病床利用率では前年度を下回った。新病院開院後の病床利用率は低迷しており、公立病院改革ガイドライン（新・旧）で抜本的な見直しが必要とされる3年間連続して70%未満の病院に該当する。 ②患者数が前年度を上回ったため、医業収益は増収となったものの、検査・手術件数の増加等が医療材料費・委託料の増につながっている。
--------	--

3 次年度以降への改善点(Action)

具体的な改善方策	人員の適正配置を図り、人件費（時間外勤務等）の削減を目指す。 経費削減・コスト意識の向上を図り、光熱水費等の削減を目指す。				
H28目標値	①病床利用率	55.5%	業務予定量より算出		
	②対医業収益比率				
	職員給与費	54.1%	平成26年度地方公営企業年鑑 100床以上200床未満黒字病院の比率		
	光熱水費	1.9%			
	委託料	11.3%			
医療材料費	17.5%				

4 その他の指標

	区 分	説 明	H25年度	H26年度	H27年度
医療機能指標 (病診連携)	①紹介患者数 (紹介率)	他の医療機関から当院へ紹介された患者の割合	32.7%	29.4%	30.7%
	②逆紹介患者数 (逆紹介率)	当院から他の医療機関へ紹介した患者の割合	16.4%	14.8%	16.2%
	③検査共同利用件数	他の医療機関による高機能検査機器（CT、MRI等）の利用件数	489件	579件	739件

平成 27 年度

施設名 下田メディカルセンター

番号

救急機能指標 (救急患者お 断り件数)	お断り理由 (種別)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度目標
	① 専門外	75件	175件	150件	100件
	② 他患者対応	18件	45件	47件	40件
	③ 他医療機関かかりつけ	10件	3件	16件	0件
	④ 緊急性なし	0件	3件	2件	0件
	⑤ 医師の指示	0件	11件	22件	0件
	⑥ ベッド不足	5件	0件	0件	0件
	⑦ その他	15件	36件	50件	10件
合計	123件	273件	283件	150件	

**施設修繕計画及び備品購入計画**

破損 年度	全ての破損した箇所・備品名	経費見積 (単位:千円)	修繕・買換等 予定年度	備考 (修繕済年度等)
	除細動器	2,376	27年度	2 台
	血管シーリングシステム	3,780	27年度	
	電気メス	3,240	27年度	
	内視鏡スコープ	13,500	28年度	5 本、一部28年度購入予定
	内視鏡システム	7,020	28年度	
	内視鏡洗浄装置	2,700	28年度	
	錠剤分包器	10,584	29年度	
	人工呼吸器	16,200	未定	3 台
	超音波診断装置	6,480	未定	
	麻酔器	7,560	未定	
	放射線撮影装置	6,048	29年度	
	乳房X線撮影装置 (マンモグラフィ)	30,240	29年度	
	C R 読取装置	54,000	未定	
	高圧蒸気滅菌装置	7,560	未定	
	耳鼻科ユニット	未徴収	未定	
	内視鏡光源装置	2,000	28年度	
	薬袋プリンター	未徴収	未定	
	電子カルテシステム	未徴収	未定	
計		173,288		

※今後想定される維持管理事項

建物自体は平成24年竣工であるため、現時点では附属設備を含めた改修計画等は策定していない。  
 医療機器については、旧病院から移設した機器も存在し、故障等により使用不能となった場合は診療に多大な影響を及ぼすため、計画的に更新していくことが望まれる。  
 特に新病院開院時に買い揃えたCT、MRI、血管造影撮影装置等の高額医療機器、電子カルテシステムについては、更新費用が多額となることから組合の財政状況を考慮した上で更新時期を判断する必要がある。

管理運営上のその他評価項目

<p>当該施設の必要性 廃止、休止等の可能性 施設の設置目的変更の可能性</p>	<p>賀茂医療圏唯一の公立病院であり、今後とも中核的医療機関としての良質で安全・安心な医療の提供が求められている。</p> <p>一方、施設の建設計画時と比較して圏域内の医療需給状況にも大幅な変化が生じており、患者数の伸び悩み、病床利用率の低迷等になって表れている。</p> <p>当圏域は既存病床数が基準病床数を大幅に上回っているとされ、静岡県が本年度策定する地域医療構想において、2次医療圏ごとに将来の必要量等が示されることとなっているため、今後、病床数の削減、機能の転換等が必要になってくる可能性がある。</p>
<p>民間による管理運営の可能性 今後の管理運営主体の見込み 行政関与の妥当性</p>	<p>指定管理者制度を採用しており、現指定管理者の指定期間は、平成39年3月31日までである。</p> <p>新病院の運営に際しては、従来の代行制から利用料金制に変更したことで一層の事務の効率化が図られている。</p> <p>なお、新公立病院改革ガイドラインにおいては、経営形態の見直しに関する選択肢として、①地方公営企業法の全部適用、②地方独立行政法人化（非公務員型）、③指定管理者制度の導入、④民間譲渡、⑤事業形態の見直しの5点が挙げられている。</p>
<p>施設の管理運営と経費の妥当性</p>	<p>新病院の運営に際しては、組合（構成市町）から指定管理者への赤字補填は行わないことになっているため、早期黒字化に向けた努力が続けられているが、受診動向に左右される点も多く、不安定な状況が続く可能性がある。</p> <p>組合から指定管理者へは、救急関係の補助金、交付税等を原資とした交付金が支出されているが、措置単価の変動等による影響が少なからず存在する。</p> <p>一方、指定管理者から組合へは、新病院に係る減価償却費相当額が負担金として支出されているが、開院以後に購入した医療機器分の取扱いが決定しておらず、現時点では組合側の負担となっている。</p>
<p>その他の管理運営上の課題</p>	<p>医師、看護師、医療技術員等のスタッフ確保が最大の課題である。</p> <p>医師については、静岡県から3名の派遣を受けている状態であり、医療ニーズの高い整形外科については、自前医師の確保が急務である。</p> <p>また、前年度の診療実績を下回った内科についても医師の退職等もあり、体制の強化が求められている。</p> <p>看護師等についても指定管理者の設立母体である社会医療法人ジャパンメディカルアライアンスからの派遣・出向に頼っている部分があり、医療提供体制を維持し、充実を目指していくためにも確保に向けた継続的な取組が必要となっている。</p>

平成 27 年度

施設名 下田メディカルセンター

番号

**施設の概要**

1 施設名	下田メディカルセンター					
2 所在地	下田市六丁目 4 番10号	3 設置年月	平成24年 5 月			
4 設置目的	地域住民の健康保持に必要な医療を提供する					
5 設置根拠	一部事務組合下田メディカルセンター規約 一部事務組合下田メディカルセンター病院事業の設置等に関する条例					
6 施設の概要	施設の概要	敷地面積 19,266㎡ 建築面積 3,768.58㎡ 延床面積 8,632.11㎡ 建物構造 鉄筋コンクリート造 地上 4 階 免震構造				
	施設の概要	使用許可病床数154床（一般150床、感染症 4 床） 診療科目 内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、婦人科、脳神経外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、リハビリテーション科、神経内科 16科標榜				
	実施事業の概要	賀茂医療圏における唯一の公立病院として、急性期医療を中心とする入院・外来診療、予防接種、各種検診等を行う。				
	施設運営方法	<input type="checkbox"/> 直接運営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度 指定管理者 (医) 静岡メディカルアライアンス <input type="checkbox"/> 一部委託 委託内容				
直接従事職員	平成28年 3 月31日現在（常勤職員） 医師10人、看護師52人、准看護師4人、看護助手7人、介護福祉士6人、支援相談員2人、薬剤師6人、臨床検査技師3人、診療放射線技師4人、理学療法士7人、作業療法士2人、視能訓練士1人、管理栄養士1人、事務職員17人、保育士4人 計126人					
7 取得費等の情報 (単位：円)	取得費及び財源内訳		平成27年度末残高	(備考) 減価償却の方法 ・定額法 ・取得翌年から ・耐用年数 建物 新病院 39年 職員宿舎 47年 建物附属設備 8~17年 構築物 10年		
	新病院建設事業		2,494,616,202		土地 503,629,880	
	地盤調査費		1,890,000		建物	
	用地取得費		505,139,202		新病院 995,786,047	
	工事請負費		1,987,587,000		職員宿舎 268,558,232	
	職員宿舎建設事業		391,650,000		建物附属設備	
	工事請負費		391,650,000		新病院 566,650,506	
	計		2,886,266,202		職員宿舎 65,897,995	
	財源内訳	国県支出金			9,198,000	構築物
		企業債			2,351,100,000	新病院 86,977,310
その他補助金		2,008,125	職員宿舎 4,928,230			
内部留保資金		523,960,077	企業債残高 2,908,755,770			

平成 27 年度

施設名 下田メディカルセンター

番号

		区 分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	
8 年間経費等の推移 (単位：円)	収入	救急業務補助金	17,189,965	16,679,808	15,199,119	16,448,000	
		構成市町負担金	61,005,000	59,770,000	58,665,000	59,503,000	
		県支出金（感染症）	5,714,000	2,241,800	2,138,800	1,942,000	
		構成市町出資金	41,645,000	42,217,000	45,010,000	49,432,000	
		企業債	42,300,000	19,400,000	25,400,000	27,000,000	
		その他補助金	0	0	0	0	
	収入合計 ①		167,853,965	140,308,608	146,412,919	154,325,000	
	支出	需用費（修繕費）	0	0	132,000	0	
		役務費（保険料等）	612,990	620,296	674,713	637,000	
		委託料（特殊建物等）	672,000	626,400	1,269,673	1,125,000	
		指定管理者交付金	74,406,965	69,243,608	73,696,919	76,009,000	
		企業債利息	42,235,173	41,991,047	47,061,715	46,206,000	
		建設改良費	42,346,500	19,494,000	25,410,672	27,000,000	
		企業債償還金	185,089,801	187,632,100	217,185,605	237,174,000	
	支出小計 ②		345,531,429	319,607,451	365,431,297	388,151,000	
	人件費 ③		—	—	—	—	
支出合計 ④（②+③）		345,531,429	319,607,451	365,431,297	388,151,000		
年間経費（④-①）		177,677,464	179,298,843	219,018,378	233,826,000		
参考：減価償却費		211,192,641	216,869,625	296,946,187	295,545,000		
備考	年間経費の算出に当たっては、人件費等の共通経費及び減価償却費等の非現金科目を除いた上で、対象施設に係る収支を抽出し、組合の実質的負担額を求めた。						
9 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	
		延患者数	入院	21,734人	25,723人	25,355人	29,200人
			外来	49,589人	54,007人	55,764人	57,135人
	合計		71,323人	79,730人	81,119人	86,335人	
	参考：利用単位当たり組合負担額		2,491円	2,249円	2,700円	2,708円	
	算出方法：8欄の「組合負担年間経費」÷延患者数 *小数点以下四捨五入 延患者数（H28予算）は業務予定量						
休診日	土曜日午後（一部診療あり）、日曜日、祝日、年末年始、法人開設記念日 ※救急診療を除く						
診察時間	午前：8時30分から11時まで 午後：1時30分から4時まで ※予約、救急診療を除く						

【参考】指定管理者決算額（損益計算書）

区 分		H25年度決算	H26年度決算	H27年度決算
経常損益	医業収益 ①	1,446,690,072	1,698,018,968	1,807,130,284
	入院診療収益	811,254,887	989,961,520	986,016,038
	室料差額収益	9,308,530	11,585,590	7,613,160
	外来診療収益	605,372,855	667,236,544	783,200,703
	保健予防活動収益	17,365,524	25,402,837	25,196,622
	その他の医業収益	12,288,791	14,032,556	15,298,442
	保険等査定減	△8,900,515	△10,200,079	△10,194,681
	医業費用 ②	1,714,907,413	1,857,369,234	1,992,651,039
	給与費	965,524,476	1,010,405,313	1,058,522,111
	医薬品費	275,460,155	320,100,592	399,467,449
	材料費	86,313,758	112,759,553	106,466,285
	経費	227,281,755	234,695,035	230,753,799
	委託費	150,240,216	170,029,850	187,777,937
	研究研修費	2,991,507	3,767,352	4,969,325
	減価償却費	7,095,546	5,611,539	4,694,133
	(①－②) A	△268,217,341	△159,350,266	△185,520,755
	医業外損益	医業外収益 ③	107,871,082	96,897,241
医業外収益		107,871,082	96,897,241	105,922,831
医業外費用 ④		163,118,129	3,385,861	2,278,314
医業外費用		163,118,129	3,385,861	2,278,314
(③－④) B	105,099,212	93,511,380	103,644,517	
(A + B) C	△163,118,129	△65,838,886	△81,876,238	
特別損益	臨時収益 ⑤	808,724	0	0
	特別利益	808,724	0	0
	臨時費用 ⑥	6,188,160	1,581,555	0
	特別損失	6,188,160	1,581,555	0
(⑤－⑥) D	△5,379,436	△1,581,555	0	
税引前当期純損益 (C + D) E	△168,497,565	△67,420,441	△81,876,238	
法人税等 F	55,000	0	0	
当期純損益 (E - F)	△168,552,565	△67,420,441	△81,876,238	
前期繰越純資産	△94,340,355	△262,892,920	△330,313,361	
当期繰越純資産	△262,892,920	△330,313,361	△412,189,599	